（續）

、郡内、絹絽、綿紬子
金巾、唐機、雲斎小
色金巾、紋金巾、綾金
巾、純毛呉呂、綾呉
モヘイル（仝上）、毛
羅紗、綿毛羅紗、毛純
イブス（純駝ノ別ナ
類（生色白色ノ別ナ
掛縮セサル一切ノ絹
重、緞子、繻子綾類
製ニ拘ラズ）包裝用
毛筆、石盤等、各種
肉、其他別項ニ掲載
子類
日本人所食ノ物、味
運水、及諸飲料類、其
白黒砂糖、糖蜜糖水
酒菊酒
一切ノ烟葉
ポルト、シエリー
キー、シヤンペイン
及泡盛、其他別項ニ
本人常用器具、家根
木、儲石鹼類、靴其他
嘗、盆及總テ木製器
化石及瓦、皮、角、骨
炭、籐、綿莢、綿糸、
毛、苧麻、運貨車船、
麻子、燈心、弗箱、器
サル一切ノ雑貨、臥
品、目鏡、象牙及一
片、洋燈及其部分
諸硝璃器類（別項
ス）、紫檀、黒檀、
木、蝙蝠傘（絹製鐵
鈕卸扣子類、鐵山
類、毛、皮、狐、獺、
玩具、首飾品、時辰
其他室内裝飾品ニ
有無ニ拘ラス）、彫

刻物

○三割税　（從價）烟花類、玻璃珠、鐵銃及其使用品、珊瑚珠、眞珠及寶石類、衝球象棋骨牌、其他一切ノ遊戯品

第九　船舶

蒸滊船（每噸銅鑑二百五十文、風帆船（每噸銅鑑百廿五文）

第十　免税品

貨幣、金銀地金、旅客行李ノ具、貨物見本（相當ノ額數）、新聞紙、廣告紙類、書籍地圖海圖、招牌、修繕勤業ノ雛形類、農具、醫術用器具、尺度、衡量、寒暖計、晴雨儀、驗液器、針盤、其他學術用器具幷其使用品、活字（新古ノ別ナク）、消防器具、船用具（若シ不用ノ者ヲ陸上シテ銳賣スル者ハ仍ホ定税ヲ徵ス）、包袋諸蓆荷蓆及繩類（貨物包裝ニ用フベキ）

第十一　禁制品

鴉片（藥用鴉片ヲ除ク）、偽藥、擬造貨幣類、淫猥私藝ノ畫圖肖像、軍器類（凡ソ軍械ノ式樣及ヒ防身ノ物件ハ須ラク領事官ニテ朝鮮官ノ准單ヲ收到シタル上方ニ進口ヲ准ス但出賣スルヲ准サス）

朝鮮國海關税目

輸出ノ部

○免税　貨幣、金銀地金及砂金、旅客行李ノ具

○五分税　（從價）別項ニ掲載セサル一切ノ輸出品

○一割五分税　（從價）紅蔘（朝鮮ノ商民日本ニ帶入スルトキハ應ニ一割五分ノ税ヲ納ムベシ如シ日本ノ商民朝鮮政府ノ特許ヲ經スシテ私カニ輸出スル者アレハ查出沒收スベシ）

右暦據トソ兩國ノ全權大臣此税目ニ名ヲ記シ印ヲ蓋スル者也

大日本國明治十六年七月二十五日

大朝鮮國開國四百九十二年六月二十二日

全權大臣辨理公使　竹添進一郎印

全權大臣督辨交涉通商事務閔泳穆印

（畢）

叙任

○明治十六年九月廿九日

叙正五位　從五位勳四等　森岡昌純

○明治十六年十月十六日

任海軍大軍醫　鈴木孝之助

任海軍中軍醫　菅野虎太

時事新報

米ノ輸出正ニ緊要ナリ

米價下落シテ人民難澁トハ遠ニ解シ難キ事相ナレ𪜈今日民間ノ實際ヲ見レバ東京ノ相場既ニ四圓臺ト爲リテ尚下ク向キノ樣子ナレバ地方ノ景況推シテ知ル可シ仙臺ノ田舍ナドニテハ疾ク三圓以下ニ落チタル處モアリト云フ斯ル景況ニテハ地租ノ上納ニモ差支ルノミナラズ米價ノ下落ニ伴フテ諸色下直商況不景氣ニシテ全國ノ工業モ次第ニ衰微ヲ致シ商家ノ閉店工場ノ破壞ハ殆ト際限アル可ラズ商工ノ衰微ニ從ヒ益世間ニ信用ヲ缺テ即チ金融閉塞ノ症ヲ現ハシ苟モ資産アル者ハ庫中ニ現金ヲ貯ヘテ唯失フナキノ謀ヲ爲シ平生金力ナキ者ハ如何ナル才能アル者ニテモ一錢金ヲ融通スルヲ得ズ金ヲ所有スル者ハ之ヲ用ルニ處ナキヲ憂ヒ才ヲ抱ク者ハ其才力ノ働ヲ呈スルニ時ヲ得ザルヲ悲シム商工ノ世界ニ資金ト才能ト兩ナガラ不用ナリトハ正ニ今日ノ有樣ナラン

右ハ金力モ才力モ中等以上ノ人ニ就テノ談ナレ𪜈其以下ニ至リ農民及ヒ職工ノ難澁モ亦甚シキモノト云フ可シ凡ソ全國ノ職工役丁ハ其手足ノ力ニ食ム者ニシテ其手足ハ大概皆直接ニ工業ニ依賴シ間接ニ資本ニ連帶シテ始メテ働ヲ呈ス可キモノナルニ資本家ノ金ハ戸外ニ出ダズ工業家ハ資本ナキガ爲ニ唯退歩ノ一方ニノミ苦心スル最中ナレバ職工役丁ノ手足如何ニ巧ニシテ又屈强ナルモ之ヲ空ウシテ日一日ヲ消スルヨリ外ニ工風モアル可ラズ現ニ京都ノ西陣、關東ノ桐生足利等ニテ機場ニ職人ノ不用ナルヲ見テモ其一斑ヲ知ル可シ又西國ノ某縣ニテハ懲役人ニ授ク可キ職ヲ得ザルヨリ百方思案ニ苦シミタル末ニ藁ノ繩ヲ作リタラバ多少ノ利益モアラントテ繩ノ業ヲ命シテ日ニ成ルモノ甚ダ多シト雖𪜈世間嘗テ之ヲ買フ者ナク幾千幾万把ノ繩ハ堆クシテ山ヲ成シ或ハ雨濕ノ時節、把ノマヽニ腐敗スルニ至レ𪜈遂ニ之ヲ處分スルノ工風ナシト云フ農家ノ困難ニ至テハ尙コレヨリモ憐ムベシ天下無數ノ小民ハ今年ノ農作ニ逢ヒ若干ノ米ヲ收穫シタレ𪜈之ヲ賣テ地租ノ金ヲ上納シ地方税協議費ヲ拂ヒ又春期ニ借用シタル肥料ノ代價ヲ皆濟スルトキハ家ニ殘ルモノハ甚タ多カラズ結局秋收ノ利ノミニ依賴スベキニ非ザレハ薪ヲ採リ炭ヲ燒キ又ハ地方ノ土工ニ所謂農間稼ヲ以テ生計ノ缺ヲ補ハントスルモ薪炭賣ルベキ市ナクシテ土工亦起フズ唯手ヲ空ウシテ飢寒ニ泣クノミ農民ノ難澁殆ト極點ニ達シタルモノト云フ可シ

畢竟スルニ日本國ノ米作ハ千古以來ノ奬勵ヲ待テ次第ニ其收穫ヲ多クシ全國物産ノ大半ヲ占メ而シテ其品柄ヲ尋レバ海外ニ輸出シテ大ニ利スベキモノニモ非ズ日本ノ國産ヲ日本人ノ口ニ喰フノミニ止マリテ流出ノ極メテ不活潑ナルガ爲ニ正ニ内國ノ需用ニ足リテ少シク餘リヲ生スルトキハ其餘分ノ供給ヲ以テ全体ノ相場ヲ變動シ意外ノ下落ヲ致スコトナラン例ヘバ平年三千万石ヲ以テ需用ニ相當シタルモノガ偶マノ豊作ニ一割ヲ增シテ三千三百万石ヲ獲ルトキハ其三百万石ヲ過給シタルガ爲ニ忽チ米價全体ノ下落ヲ來シテ國民過半數ノ難澁タルヿナリ一國内ニテハ民ノ過半ガ貧困ヲ感スルトキハ商工ノ業盛ナラント欲スルモ得ベカラズ即チ編首ニ云ヘル米價下落シテ人民難澁ノ奇相ヲ呈シタル由緣アリ固ヨリ今ノ商工不景氣ハ其原因一ナラズ數年前紙幣ノ過發ニ由來シタルモノ甚ダ大ナレバ速ニ其兌換法ヲ定メテ通貨ノ乱高下ヲ止ルヿ緊要ナレ𪜈政府ノ當局者ニテ尙未ダ其策ヲ得ザル歟今日ニ至ルマデ聞ク所ナシ是レハ姑ク止ムヲ得ザルノ事情アルモノトシテ强ヒテ自カラ慰ルモ此紙幣ノ關ニ加フルニ本年ハ又農作ノ奇相ヲ以テシタルヿナレバ斯ル場合ニ臨テハ米價ノ下落ヲ防ク一策ニテモ施行シテ禍ノ幾分ヲ輕クスルハ公私ノ爲ニ最モ必要ナル處分ナラン即チ其策ハ米ヲ海外ニ輸出シテ内國ノ市上ニ供給ノ過ルモノヲ除去スルニ在ルノミ

米ヲ外國ニ輸出スルニ就テハ從前我諸港ニ於テ其事ニ慣レズ運送船ノ都合モアリ海外米價ノ昂低モアリ甚タ容易ナル事ニ非ザレ𪜈既ニ其必要ヲ悟リテ策ヲ決シタル上ハ自カラ亦着手ノ順序緩急ノ利害モアル可シ是等ノ細目ハ之ヲ他日ノ論ニ讓リテ本編ハ唯其輸出可否ノ大体ニ就キ鄙見ノ一端ヲ開陳シタルノミ

雜報

○檢閲式天覽　聖上ハ來ル廿七八日頃日比谷練兵場ヘ行幸在せ給ひ近衛諸隊の檢閲式を天覽遊はさるゝ筈ゐて該隊と昨今專らその準備中ありといふ

○御陪食　是まで各大臣參議ゐい金火兩曜日毎に御陪食と仰付られし處自今金曜日は舊例の通りにて火曜日は折詰の御肴と賜はる事に御改正相成たりと

○靈鑑　伏見宮ゐい一昨十七日午後五時より各皇族方及び其御息所を紀尾井町の邸へ招待させられて大祭日の祝宴を開らせられ酒間俗人をして舞樂を奏せしめ興を侑けさせられたるよし

○野營巡視　士官學校長三浦陸軍中將い士官學校生徒の習志野原に於て執行する野營演習巡視のため去る十六日當地を出發したり

○三島縣令　前號に三島福島縣令は上京と延引せし由記載せしが右い全く誤聞ゐて同縣令は去十五日上京したり

○流行病巡視　赤痢流行の實況視察のため愛媛縣へ出張したる土木内務省准奏任御用掛と去る十四日同縣へ着したる由

○判士長　第三軍管第六師管後備軍司令官八木歩兵大佐は名古屋鎮臺軍法會議判士長に第三軍管第七師管後備軍司令官津下歩兵少佐は金澤營所軍法會議判士長ゐ號れも去る十六日仰付られたり

○アルベール侯の死去　維也納新聞れ報道に據るに墺國副水師提督ウオーレルストルフ、アルベール侯は學術老練を以て其名、歐洲諸國に轟き古來墺國の軍人ゐして同侯の如死才幹を具へたるものはゐるまじとの評判もゆりし程ゐりしが本年六十八歳と一期として近頃遽ゐ死去したり侯い幼にして建築術を學び年十八にして海軍の籍に入り累遷して高貴の位を得千八百六十五年ゐ至りて商務卿となり大學校及び其他學術の會員ゐりて學術上にも頗る功勞ゐり國にて文武の柱石とも仰られたれば識ると識らざると皆ゐ其地を惜まぬものはゐりしと